

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 3年 12月 10日

事業所名： なないろの空

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			法令を遵守し、基準以上のスペースを確保しています。	個別のスペース確保は、今後も検討をしていきます。
	② 職員の配置数は適切である	6			法令で必要とされる配置数に加え、児童指導員を増員配置しています。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		5	1	玄関に踏み台・手すり、トイレに手すりの設置を行っています。	建物の構造上、また賃貸の為、バリアフリーは難しいですが、今後も検討をしていきます。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		日々のミーティングで前日の振り返りを行っています。また、随時ケース会議で目標に沿った振り返りを行っています。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			アンケートを実施し、ご意見を真摯に受け止め、意向の把握・改善に努めています。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			毎年、年末にホームページにて掲載をしています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			6		今後検討をしていきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1		研修委員会を設け、スタッフの疑問や日々の支援の中から必要と思われることを月に一回、定期的に研修をしています。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		アセスメントは年に1回、見直しを行っています。日々の子どもの様子や保護者・関係機関とのやり取りの中で、ニーズに沿った計画を立てるよう努めています。	
適切な支援の提供	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6				
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	6			職員会議で翌月の計画を立て、担当制にし、様々な活動が提供できるように計画しています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			考える・書く・作る・体を動かす等、様々な経験ができるよう毎日計画をしています。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			利用時間が長い日には、学校巡りや季節ごとの風景を観に、外出等の活動も取り入れています。	

関係機関や保護者との連携	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		集団遊びや個別で集中した活動等、組み合わせで個々に合った活動を提供できるように工夫しています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			毎日のミーティングで、打ち合わせ及び確認を行っています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			毎日のミーティングで、振り返りや情報共有をしています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			支援記録・ヒヤリハット・個別支援計画の目標に沿った評価表等を日々記録し、支援に繋げています。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1		半年に1度の頻度で見直しをしています。児童の発達状況によっては、短い期間で計画の見直しをすることもあります。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	6			自立支援、日常生活充実の為の活動、創作、コミュニケーション、社会性の向上等の内容に取り組んでいます。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1		基本的に児童の担当スタッフが会議への出席をしています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	1		下校時間の確認について、主に保護者から行っています。難しい場合は、直接学校と連絡を取り合うようにしています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		2	3	(未記入 1名)	現在、該当児童がいません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2		3	担当の相談員を通して情報共有をしています。 (未記入 1名)	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		2	3	(未記入 1名)	現在、該当児童がいませんが、今後移行があれば提供していきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	1	(未記入 1名)	コロナウイルス感染対策の為、今年は参加していませんが、今後機会があれば参加していきたいと思えます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		1	5		現時点では計画していません。
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	2	2	2		参加可能な時間帯であれば参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		2		直接、保護者と話しをする機会がもてない時は、連絡ノートやメール、電話等で情報共有を行い、共通理解を心掛けています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4		保護者から相談があれば、その都度対応をしていきます。
	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	契約時に紙面を見ながら、説明をしています。変更があれば、都度お伝えをしています。	
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		保護者との日々のやり取りで、助言をしています。必要に応じて、個別に面談の機会を設けています。	
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			6	希望に応じて、検討をしていきます。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		苦情解決委員を設置し、苦情があった場合は迅速に対応するよう努めています。意見箱や保護者アンケートの活用をしています。	
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		会報は作成・配布をしていませんが、ホームページにて活動内容を公開しています。	
	③5	個人情報に十分注意している	6		個人情報の取り扱いには十分注意しています。書類保管の部屋には、鍵をかけて児童が入れないようにしています。	
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		絵カードやスケジュールカード等、それぞれの児童に合わせた方法で伝えられるよう工夫しています。	
非常時等の対応	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		今後検討していきます。
	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2	各種マニュアルを策定し、それをもとに定期的に研修を行っています。保護者へ実施後の報告をお便りにてお伝えしています。	
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		定期的に児童を含めた避難訓練を行っています。それに加え、職員のための避難訓練を毎月実施しています。	
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	定期的に虐待防止の研修を行い、未然に防げるよう意識を高めています。	
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1	2	現在身体拘束を行うことはありませんが、やむ負えない場合を考慮し、保護者に説明した上で、個別支援計画書に記載していきます。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	入所時の面談で確認をしています。(未記入 1名)	
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		事例があった場合は、報告書を作成し、職員間での共通理解が出来るよう話し合いを行っています。また、月に1度、ヒヤリハット事例の検討会を実施し、職員の気づきや対応の改善などに努めています。	